

明治三十六年二月廿三日 臺灣通商局

民殖第二二二號

受第二四三四號

當部殖產局茶材栽培試驗場試製ニ係ル各種  
入製茶左記目錄ノ通帝國領事及貿易事務官  
送付シ確實ナル當業者ノ詳細ナル品評ヲ要ス  
右右各國領事ノ御照會相成テ概致致此公口  
存外也

明治三十六年 二月十六日

臺灣總督府民政長官後藤新



外務總務長官珍田捨己殿

進テ既前ニ垂揚多クテ在況ハ奪送可ハ此所ノ所也

三十一年三月九日

臺灣總督府

奪送先

烏龍茶半斤八十一個

綠茶半斤八十一個

紅茶半斤八十一個

右米國亞港帝王領事

右口 上入大箱壹個

北米加奈陀モントリール帝王領事

右口 上入大箱壹個

帝領浦拉斯德斯日本貿易事務官

右口 上入大箱壹個

米亞市加古帝王領事

右口 上入大箱壹個

濠洲エドニー帝王領事

半斤八十一個 半斤八十一個 半斤八十一個

口正味十三斤半入 口正味十三斤半入

口正味十三斤半入 口正味十三斤半入

口正味十三斤半入 口正味十三斤半入

口正味十三斤半入 口正味十三斤半入

右口

上入大箱壹何

口正味十三斤半入  
中防防英斤廿五斤

米國伊月帝必飲事

紅磚茶五枚入三函

入大箱壹何

西磚一三枚存以三自味  
中防防英斤八十九斤

紅磚茶五枚入三函

入大箱壹何

中防防英斤七十九斤

右票欽司三ライスク島田洋行

紅磚茶五枚入三函

入大箱壹何

中防防英斤七十九斤

右字欽浦拉形德形帝正防易事初官

紅磚茶五枚入三函

入大箱壹何

中防防英斤八十九斤

右露欽浦拉形德形九加加多多輪出林或令社

臺灣總督府





記

烏龍茶半斤入十個

係 茶半斤入十個

紅 茶半斤入十個

紅磚茶五枚入三箇  
橋下茶五枚入一箇

入大箱五箇

兩碑上茶板付給書有指  
付書指其分七十九斤

送三米

外務省

米

近右を所領ニシテラスク各々由洋行ノ

紅磚茶五枚ノ三連	入大箱老個	兩樽上毛板付約音目取
紅磚茶五枚ノ一連	入大箱老個	計諸箱茶斤六斤
紅磚茶五枚ノ三連	入大箱老個	計諸箱茶斤六斤
紅磚茶五枚ノ一連	入大箱老個	計諸箱茶斤六斤

及ニ其地ル即當茶葉採金林分庄ノ

紅磚茶五枚ノ三連 入大箱一個 兩樽上毛板付約音目取

紅磚茶五枚ノ一連 入大箱一個 計諸箱茶斤六斤

ヲ及送之及ヨリ計斤物等百廿六斤等及ヨリ右等

外務省

可成出通商手取及可成ノ

分記ノ一子



明治廿六年二月十五日

二二二

受第四八八六

為部隨產茶栽培試驗場試驗、  
易事物有、其付之為業者、當詳之需  
及右各國領事、所照會方本年二月十  
日付改地若二二二号より及以依頼あり  
右の内証書帝國領事宛の分は都令に依り  
立地吉谷作之物、直接其付る計あり  
付付中子致日領事、若るは亦照會あり  
件市立信成あり何故に及以依頼あり也  
明治二十六年四月十日

臺灣總督府民政長官後藤新

三十二年四月十日

臺灣總督府

外務總務長及珍田檢已殿







明治六年七月一日

公信第五四號

ハ三四一

甚涉茶見本未達一俾

甚涉總督府民政部殖産局茶  
樹栽培法協同會製二俾製茶見  
本不日總督府より直接寄附ニ申送  
付至リ付ニ付寄地高茶名ヨリ其南洋  
ノ樹ニ指合方少打也ヨリ本年三  
月六日付送第一三号ノ以テ法戸越ニ於  
テ改法見本未分殊違テ改行ニ付或ハ  
法送付ノ途中一召違共ヨリ付ニ在リ中  
ト抄シ右未達一ニ爲メ申恒意此ノ指  
附具

三六六十九

在東港日本領事館

在東港  
領事上野季三郎

外務省通商局長杉村濬敏

文書課長



明治三十二年七月二十一日

90

洋書課長

明治三十二年七月二十一日  
同 年 七月 二十一日  
日 起 草 呈 時  
日 發 遣

主任

通商局長 杉村



總務

代 記

杉村

收 據 印 領 書 及 札

送 附

一 枚 附

本 書 見 本 子 出 送 一 冊 呈 呈 一 冊 存

一 冊

外 務 省

貴 部 殖 産 局 茶 樹 栽 培 試 驗 場 試 製 不 係

ル 如 不 係 一 冊 附 呈 者 一 冊 評 一 冊 附 呈 者 一 冊

本 種 見 本 子 出 送 一 冊 呈 呈 一 冊 存 一 冊 呈 呈

付 呈 者 一 冊 呈 呈 一 冊 存 一 冊 呈 呈 一 冊 存

三 二 三 年 一 月 十 日 付 付 付 付 付 付 付 付 付 付

中 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十

本 書 見 本 子 出 送 一 冊 呈 呈 一 冊 存 一 冊 呈 呈

一 冊 呈 呈 一 冊 存 一 冊 呈 呈 一 冊 存 一 冊 呈 呈

3-1466

0392

右ノ味ニ由ルニシテ  
札ノ味ニ由ルニシテ  
此ノ味ニ由ルニシテ  
及此ノ味ニ由ルニシテ

外務省

3-1466

0393

民五二二二號

陽子清多數未煩所供製茶不評方依  
標ニ付テハ現泉送達方臺以三村支店  
ヲシテ引交ナシメ過ク四月二十七日現泉引  
付至其後當該處ニ寄月四日付送券一五九  
号ヨリ照會ニ據テ其ノ付テハ早速同店  
ニテ手帳ノ取行方札サシテ供交積演同支  
店ニ於テ行連ヲ生シ之カ為メ時日遷延  
年月一日後出ラリシ供積同白交積  
今既既ニ到直積積事ト存於茶一可出中  
其亦以取高集港積事ニ一積一積有煩  
此取及西取供也  
西三十三日八月二十百

臺灣總督府民政官佐藤新



外務總務長官珍田隆巳殿

114479

明治三十七年二月十日

臺灣通商

公券一〇七之

受葉 〇〇〇 〇〇

新券及洋之関之回各、件

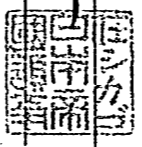
甚濟紙幣府民政部陸軍局等樹栽培試驗  
場製造、俾新券見本各種不混、廿七回同府  
寫出標南館、送付了、付着荷、上、市、  
確實之新券在、詳細九、得、  
本年二月六日附送券五号、以、  
安免初旬、至、右見本、到看、付、  
宜立、券南、教者、配付其、  
其、回、接、付、其、  
差進、  
敬具

明治三十七年十二月四日

在外公館

在平儀

伏奉 清水精之郎



外務省男爵小村壽太郎

臺灣茶樹栽培試驗場製造

ニ係ル製茶見本ノ品評

本年九月十日接到ニタル臺灣總督府民政部殖産局茶樹栽培試驗場、製造ニ係ル製茶見本ハ

烏龍茶 半斤入 拾壹個

綠茶 同 拾壹個

紅茶 同 五個

總計貳拾七個ニシテ内各種壹個ツ、當館ニ留置キ其他ハ悉ク當市ノ重立ニナル茶商チエース、エント、カンボロン外三個所ノ左ノ如ク

チエース、エント、カンボロン商會  
烏龍茶 貳個  
綠茶 叁個

在外公館

スプレグワナー商會  
紅茶 壹個  
烏龍茶 貳個  
綠茶 叁個

リード、ムルボックス商會  
烏龍茶 四個  
紅茶 叁個  
綠茶 叁個

ゴットリーブ、ミツタニ商會  
烏龍茶 貳個  
綠茶 壹個  
紅茶 壹個

分配シ

各種格別ニ其形状、水色、香味、良否、改良ヲ加フベキ点アラバ其要点其他評價等ニ関シ夫々其意見ヲ



求ノタルニ

四店ノ二店ハ相前後シテ其品評ヲ書面ニ認ノ差越シタルモ他ノ二店ハ其回報大ニ延引シタルヲ以テ本官自ラ出張シテ彼等ノ意見ヲ叩ケリ其要領左ノ如シ  
一緑茶、擬製籠茶

一形状、臺灣茶ヨリ製造シタルモノトスル片ハ可也上出来ナレモ葉端白毛色ヲ帯フルモノ少ナカラス為ニ一見白味ガ、リタル部分ノ顯然タルヲ覺シ此、茶ハ静岡園<sup>園</sup>デングリ法ニヨリテ製シタルモノト思ハルト虫<sup>虫</sup>其完<sup>完</sup>ヲ致スマデニハ猶ホ幾多ノ經驗ヲ要スルナルベシ、色合ハ先<sup>先</sup>上出来ト云フマシ

一水色、熱湯注入後略一分間ハ可也ノ水色ヲ保ツト虫<sup>虫</sup>二分三分トナリ更ニ五分ヲ経過スル片ハ全  
在外公館

ク赤褐色ニ変レ彼ノ籠茶ノ特色ナル清透山吹色ノ美ニ至テハ及サルコト遠シト云フマシ

ニ香味、香氣ハ全ク臺灣茶ノ変化シタル様ニシテ毫モ日本茶ノ香氣ナキノミナラズ一種云フベカラサル臭氣ヲ有シ味亦最不可ナリ且冷却スルニ從テ多少酸味ヲ覺ユル嫌アリ

四價格、形状ヨリノミ云フハ廿四五仙ノ口品ナルベキモ香味、水色ヨリ云フハ日本籠茶ノ十五六仙ノ品ニモ劣ルガ故ニ時價ヲ判定シ難シ

要之此模製茶ハ全然失敗シタルモノト云ハサルヲ得ズ尤モ香味、水色ニ完全ナル改良ヲ加フルヲ得ハ或ハ賣品タルコトヲ得マシト虫<sup>虫</sup>其劣銀費ノ得喪如何ニ至テハ蓋シ疑問ニ屬ス云々

又或者ハ云フ本茶ノ仕上外觀ハ好良ナレモ其茶汁ヨリ判定スル片ハ到底日本及支那緑茶喫飲家嗜好ヲ招致スルコトハ勿論在来ノ日本及支那茶ノ代用品タルコトスラ覺束ナキ程ニ劣等ナリ蓋シ臺灣産茶葉ノ所謂緑茶ニ伴フ特産ヲ缺クニ基因スルモノナルベキガ故ニ之ガ改良ヲ計ラントスルハ無益ノ業ナルベシ云々

一臺灣烏龍茶 茅壹號

一形状 此種ノ茶ハ夏季ノ摘採ニ属スルガ故ニ今少シク形状齊一ナルベキ筈ナルニシテ不揃ノ嫌アリト筈モ全体ヨリ評スレバ先ツ品質相當ノ形状ト申スベシ色合ハ普通ノ烏龍茶ト異ナル処ナシ

在外公館

三香味 火度宜シキヲ得タル為ノニヤ香氣特ニ優リ形状ニ比シテ頗ル佳品タルノ趨アリ、味亦一

四價格 目下ノ相場ニテ一封度ニ付當地着米貨貳拾五六仙ナルベシ

一全上 茅貳號

一形状 茅壹號ニ比シテ一等ヲ下ル

二水色 申分ナシ

三香味 製法ハ申分ナキモ品質ハ茅壹號ニ比シテ一等ヲ下ル

四價格 目下ノ相場ニテ一封度當地着米貨貳拾參仙ナルベシ

一紅茶 支那模製紅茶

一形状、南清地方ノ紅天茶ヲ模製シタルモノトスル片ハ先ツ申分ナシ

ニ香味、及水色、共ニ可也ノ出来ニシテ批雜スベキ處ナレ尤モ一種烏龍的ノ香氣アルハ免ルニカラザル処ナル

ベレ

三價格、全然支那茶ト對照シテ時價ヲ定ムルコト困難ナリト雖モ先ツ當地着一封度十五六仙ナルマシ

要之ニ此模製紅茶ハ綠茶ニ比シテ遠カニ優レリ云々又或者ハ云フ烏龍及紅茶モ亦綠茶ト同様ノ品評ヲ

免レズ蓋シ其製法及風土ノ相異ニ基クモナルベキ歟以上二種ノ模製品ハ普通ノ臺灣茶及支那紅茶ノ

美味ヲ缺クノミナラズ錫蘭及印度茶ニモ劣ルモノアリ、最初熱湯ヲ注入スルトキハ稍々暫クハ香氣ヲ

保ツモ之ヲ啖飲温度迄ニ冷却スル片ハ香氣逸散シ且テ茶味ヲ失フニ至ル云々

在外公館

在外公館

明治十七年一月十三日接奉

郵通商局

公才九一

受第 四 五 八 號

臺灣試製茶ノ件

臺灣試製茶ノ件  
臺灣試製茶ノ件ヨリ發送セル尺布茶ニ對シテ各地ニ於  
ケル業者ノ取極ク要スヘキ旨送才七号ヲ以テ  
此申越ノ旨ニ送レ現亦到達、上掲ノ業者者  
亦極ク求メテ所産臺灣試製尺布茶ノ取極  
寄返呈進の旨同試製府へは發送方の様  
礼計亦承交し候了此致候具  
明治十七年一月九日

左モントリル

臨領事 佐野 啓五

外務省 長官 珍田 啓五



明治十七年一月十三日



臺灣試製見本茶ノ品質

臺灣試製三種ノ見本茶、内地ニ於ケル茶業家  
中経験ニ當ミタリト称セラル、ゼービス、ラサーフホード  
高倉及加奈太政府ノ製茶検査友アーレン氏及  
其他ノ茶業者、就テ品質ヲ求メタル、所設何レ  
モ大ニテナク、試製茶ニ対シテ加奈太市場  
ニ對シタル望ミヲ有セサルモノ、如ク性比較的烏龍  
茶、多少ノ希望ヲ屬セルモノ、如シ左ニ示スル  
ヲ掲ク

烏龍茶 (引込段一斤十八仙乃至二十二仙)

其色形状香等其品質ノ良ナレトモ最上者トハ稱シ  
難ク、元來加奈太ノ烏龍茶ヲ嗜好スルモノ、少ナク  
而シテ其少量ノ需用モ上者ト下者トノ有種

在外公館

ニ分レ上等品ハ嗜好、為、使用セラレ下等品ハ  
價格ノ廉ナルカ為、使用セラル、故ニ種別茶ノ  
引込各ナルモノ、如シカレト三種ノ見本茶中  
ハ加奈太市場ニ多少ノ希望ヲ屬シ得ヘキ、烏  
龍茶ニシテ既テ、加奈太領内試製茶ヲ使  
用スルノ地ハトロント、東京ノ地方即ハミルトン、ロンドン  
ヲタワ、モントリール、クエベック、セン、シヨン及フハリハック  
ニシテ年内ノ消費高ハ一箱五十斤入ノモノ約  
三千箱内ナリト云フ、尤先達モ臺灣又ハ内地  
ノ本邦諸港ヨリ輸入セラレスシテ、紐育又ハ倫敦  
ヲ經テ内地ニ移入セラル、モノニシテ米國ニ於ケル  
茶稅廢止前、却テ倫敦ヨリ多ク移送セラレタル  
モ、茶稅ノ廢止セラレタル、今日或ハ紐育ヨリ移送



セリル、モノ多キ、至ラント云へリ先、南新ル事情  
ノ下、在テハ價格ノ自然高ナル、常態ナルモ  
ハ、中島、臺灣ト並列シ、開始スルト同時、一方、於  
テ販賣ノ方法、急ハルアラハ、次第販路、擴張  
ヲ望ミ、ハキモノ、如シ

紅茶

(乳引並段一斤十二仙乃至十二仙出)

形状ハ印度錫葉及清園製ノ紅茶、比レテ遜色  
ナキモ、如色香等、其到底及ハサル、莫アリテ、  
年印度、製造セルカレ、ウアレ、エ夫茶(マ  
Siam Tea Valley Ceylon)ノ下等品、類似セル  
香味ヲ有シ、大抵、格テハ、皆テ、本邦、於テ試製  
セル紅茶ト大差ナリ、尚改良ヲ加フル、アラサレハ  
到底市場ノ好評ヲ得カタク、カレ、現品ノ修ミテ

在外公館

ハ、本邦ノ並段ヲ以テ乳引セラルレ、多量ナラント  
云へリ

綠茶

此種、綠茶ハ、市場、所謂綠茶ニアラスレテ  
本邦、於ケルハ、製茶、類似ノ、品、タリ、而シテ  
加奈太、在テハ、更ニ、此種ノ、常用者ナリ、之、市  
場、乳引、格、多ナル、依リ、其、本邦、ヲ、指定、シ、  
キ、モ、常ニ、茶、質、ノ、莫ヨリ、評スレハ、如色、稍、濃、  
過、キ、亦、香、等、コ、合、レ、ト、云、へ、リ

明治三十二年十二月九日

明治卅一年一月十三日接受

別紙

100

清書校正

明治卅一年一月十三日起草  
同日發達

通商局六三村

主

明治卅一年一月十三日  
送第 二 號

台灣總督府民政局長友亮

瑛申事務官

台灣產品評定圖表四卷八件

三十七年一月十三日  
外務省

貴部殖産局奉附栽培試驗場試製係製茶對  
業者品評之需凡為各種見本品在外帝國領事館御  
送台一件台案於二月十六日自民殖カニニ了了御照會  
一紙對考訓令相成所外今般在市休大領事館御  
有之候同類製會美匠御查收相成度以既申台也

14  
C

文書課長

明治廿七年一月十八日接受

藤正 藤正

明治廿七年一月廿五日

日 期

主任

通商局長

外務省

通商局長

長官

長官

報告

外務省

三十七年一月廿三日

貴部より在外公使、主務者送致の如く、陸産  
 局、林業試験所、試験の件、各在野者意見  
 に対し、確案九者、呈請、其詳、要る、林業  
 右在外公使より、伝教、分、廿二日、十六日、民産  
 局、三三三号、シテ、以、次、第一、其、通達、分、外  
 長官、之、致、在、モ、ト、リ、シ、テ、同、部、長、官、ヨリ、  
 外務省、ヨリ、同、部、長、官、ヨリ、同、部、長、官、ヨリ、  
 了、事、外、公、使、ヨリ、同、部、長、官、ヨリ、同、部、長、官、ヨリ、





明治三十七年一月二十三日收受

公信六五 號

一三三七號

普通郵便



茶葉 不詳 件

昨年三月六日自送第一三三号ヲ以テ申越シ基博徳督府民政部殖産局茶樹栽培試験場試製ニ係ル各種茶見存不ハ昨午八月末ニ津波以テ乃夫々市中ノ至ナル者ニ配シ其不詳ヲ徴シタル結果以テ御及仰指升 抄具

明治三十七年一月十日

在桑港

任中上野季三



外務大臣 野村 嘉吉 敬啟

三十七年一月九日

在桑港 日本領事館

臺灣茶の洋行

臺灣茶三種ノ見本品ニ當市ノ名ナル者ノ為業者ニ台配シ其品洋行

- A. Schilling & Co. 2nd & Johnson Sts.
- Macandry & Co. 116 California St.
- J. A. Folger 104 " "
- Wellman & Peck 201 Market " "
- M. J. Brandenstein & Co. 118 Market " "
- James & Paddock 28 Fremont " "

シーリング商會ノ説

三種ノ見本

中島部茶ヲ第一トシ紅茶之ニ次キ綠

在東港日本領事館

茶最長ニ引ケリ而シテ烏部茶ハ良好ニシテ味ニ香氣勝リ一封包ニ對シ味優三十五仙乃至四十五仙ニテ賣行クマシ又紅茶モ製法及香氣其申上ナク一封包ニ百キ十の仙乃至二十仙ニ價スマシクニ綠茶ハ製法不完全リ免レサルニ依リ其見込價格仕度ナレトモ現時日本茶ノ市價價高キニ因リ先ツ十の仙乃至十八仙ノ價格ナルマシ

マコンドリー商會ノ説

烏部茶友

紅茶共ニ良好ナレトモ綠茶ノ佳良ナルニ及ハズ淡綠茶ニシテ藍焙ノ名ノ下ニ賣出セバ最上ノ品位ニ引スベク而シテ為

港阜頭一付分ニ對シ米價二十仙ノ  
噴揚ナレバ直ニ華客リハル困窮ナラ  
サルマシカレトモ曰綠茶ハ寧ロ口シカゴ  
市場ニ賣出スコト利益ナルマシ  
フォルジヤ一商會ノ説 曰高金ノ  
見込價揚リキノ如シ

烏龍茶 一付分ニ付 二十仙

紅茶 十仙

綠茶 十仙

烏龍見本茶ハ甚好茶ノ良好ナル  
製法ニ對スレトモ他ノ見本茶ニ移イ  
製法非難アルヲ免レズ蓋シ淡紅茶及  
綠茶共揚來市場ニ至ル錫蘭紅茶

在東港日本領事館

及支那綠茶ニ劣ルコト甚キヲ見ル只係  
茶ハ其見付キ頗ル美ナルニ因リ紅茶ニ  
比シ高キ價揚リ付シカレトモ香氣及  
味ハ非難非難ヲ免レズ元來台茶  
茶葉ハ殊ニ烏龍茶ヲ製スルニ適スル  
ニ依リ今更ニ此ノ如キ如茶及綠茶  
ヲ製スルニ務ムルハ貴ス又キニ非ラズ蓋  
シ之ニ依テ烏龍茶ノ特殊ノ美点ヲ  
失フ勿シナラズ一而ニ優劣ナル錫蘭茶  
及支那茶ト競争トセサルベカラサルハ不  
策ナルヲ免レズ故ニ殊特ナル美点ヲ及  
揮スルニ務メ專ラ烏龍茶ヲ製シ他種  
ノ茶ヲ製スルヲ廢スマシ

ウエルマン及パツク商會ノ説  
茶ハ總テノ品ニ於テ優好ニシテ價格  
ハ當市場ニ於テ二十仙許ナルマツ緑茶  
ハ見付キ好ナルニ拘ラズ味及香氣芳  
リ飲用ニ適セズ價格ハ十八仙許ナルバ  
シ

ブラジレンスタイン商會ノ説  
茶ハ概シテ中分ナキモ第一等品ニ列セズ  
即チ同品ハ價格ヨリヨル客易ナルマキモ  
最上ノ價格ヨリヨル困難ナリ同商會  
見付キニ於テハ價見奉品ハ情主人ノ  
製造ニ係ル鳥都茶ニ及ハズシテ價  
見奉品ノ欠点ハ火力少シク強過キヤル

在東港日本領事館

ニアリ又價見奉品ハ終末市場ニアル  
偏茶ニ及ハズ終末ノ茶味ニ優レ本リヨル  
價見ハ客易ニ價見奉品ヲ用ヒサルマツ  
長テ價見奉茶ヲ賣出ス事尤モ困難  
ナリ味ニ價見奉茶ハ見付キ可ナルモ茶  
味重クシテ當地方人ノ嗜好ニ適セサル  
ナリ故欠点ハ多スルニ時季産レノ茶葉  
ヲ用レタルニ原因マシ要スルニ甚博茶ハ  
新種ノ茶ヲ製造スルマツ廢レ事ナリ  
鳥都茶ヲ製スルニ務ムルヨリ茶ナリ  
但シ同商會ハ見奉茶ノ價格ヲ付スルマツ  
好マス  
シエーラス及バドック商會ノ説  
鳥



都茶ハ徳テノ且ニ於テ良好ナリ元來本島  
 都茶ハテート高倉(高倉)ヲ徑テ  
 湾基ヲ直輸入ニ係ルト稱シテ本  
 島地ニ偏リ知ラレタルナリ抑トモ鳥  
 都茶ハ高倉平洋岸ヲモ高倉本  
 都ニ於テ度リ需安セラル又曰見本  
 都ノ見込價格ハ十九仙ナリ又係茶ハ  
 十分南足シ難シ功々見付キハ可ナルモ  
 香身及味不完全ナリ今少シク製造ニ  
 注意スレハ良好ナル係茶ヲ得ベキニ因リ  
 藍焼ハ右ノ下ニ賣出セハ良ナルマシ  
 見込價格ハ十九仙ナリ又シ

在來港日本領事館

文書課長



事務日加目二冊子此附

36

海軍省

別紙

明治廿七年二月五日

日地申 庶務  
日發増

主任

通事長

明治二十七年二月六日達済

送第一八

決 定

台湾總督府公取長官

台湾茶品評定會之件

二十七年二月六日附録

外務省

去年二月十六日附録第二二二號ノ

以テ四ノ多ク中ノ半額陸産ノ茶

特栽培試験切試物之係ル各種茶

品評一付ノ案ニテ擬テ在茶港番金銀

事ノ旨ノ旨ニテ一回檢査ノ案致ス

及 申 出 書

(公平取引ヲ六種公平各面添付シ)







100

100

<p>其知法は存すは地方の如く      此は見せしめたる</p>	<p>要之三種共其の便に於ては      前條の如く市場に於ては</p>	<p>有條にして今新の日本製茶      ントるハ既ニ因記を以て</p>	<p>ハ為業其の便に於ては      此は見せしめたる</p>	<p>此は見せしめたる</p>	<p>此は見せしめたる</p>	<p>此は見せしめたる</p>	<p>此は見せしめたる</p>	<p>此は見せしめたる</p>	<p>此は見せしめたる</p>	<p>此は見せしめたる</p>	<p>此は見せしめたる</p>	<p>此は見せしめたる</p>	<p>此は見せしめたる</p>	<p>此は見せしめたる</p>
---------------------------------------	--	--	-------------------------------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------

在外公館

3-1466

0414



招きあはるる名 古くは美事なり  
又古くは名に通る 料は他今計  
業債四志九長 財物通り口紙  
紙より立起す 料は他今計  
業債四志九長 財物通り口紙  
紙より立起す 料は他今計  
業債四志九長 財物通り口紙

明治二十二年十月十日 外務省 書記官 山田 龍之介

外務省